

## NPO 法人再生医療推進センター2019 年度理事会議事録

日時：2019 年 5 月 25 日(土) 16:30-17:30

場所：井上クリニック糖尿病センター会議室

(京都市下京区四条烏丸西入函谷鉾町 89 番地函谷鉾ビル 5F)

出席者：井上一知、大熊藍子、守屋好文、饗庭一慶、川原美枝、徳永立子、萩原明於、  
藤井康雄、山岸久一、湯川二郎

監事

井上公子

欠席者：理事長への一任了解

理事（角昭一郎、河瀬斌、木村正弥、重松一生、篠原茂生、高山成吉、  
星野順一、宮本正章）

監事（大熊正人）

特定非営利活動法人再生医療推進センターの理事会において、出席理事者数 18 名（内委任状出席者数 8 名）、理事総数 23 名であった。これに基づき、井上一知理事長は本日の理事会の開会を宣言した（16 時 30 分）。

第 1 号議案：議長及び議事録署名人の選任の件

井上理事長より、議長及び議事録署名人の候補者の指名に対して全会一致で承認された。

- ・ 議長の選任：守屋好文
- ・ 議事録署名人の選任（2 名）：饗庭一慶、大熊藍子

第 2 号議案：理事再任の件（配布資料番号 1）

守屋議長より、役員一覧表（資料番号 1）に基づき、理事の紹介があり、再任の確認がなされ、異議なく、全会一致で承認された。なお、各理事の現状における住所確認がなされた。

・ 再任理事名

井上一知、饗庭一慶、大熊藍子、金澤正憲、河瀬斌、川原美枝、木村正弥、古賀まり、小茂川邦彦、重松一生、篠原茂生、角昭一郎、高山成吉、徳永立子、萩原明於、長谷川正治、日裏彰人、藤井康雄、星野順一、宮本正章、守屋好文、山岸久一、湯川二郎

・ 監事

井上公子、大熊正人

第3号議案：2018年会計報告の件（配布資料番号2）

川原理事より、2019年度3月31日現在の特定非営利活動に係る貸借対照表、並びに2018年4月1日から2019年3月31日までの特定非営利活動に係る事業会計収支決算の報告があった。全会一致で承認された。

第4号議案：2019年度予算案の件（配布資料番号3）

川原理事より、2019年4月1日～2020年3月31日までの、特定非営利活動に係る事業会計収支予算の報告があった。同理事より、給与に関する部分が膨らんでいるとのコメントがあったが、当センターの活動の活発化によるものであるとした。議決に移り、全会一致で承認された。

第5号議案：2018年度活動総括の件（配布資料番号4）

守屋議長より、資料番号4に基づき2018年度の活動総括の報告が行なわれた。大熊副理事長より、ホームページが生き生きした感じを受ける。再生医療相談室も真摯に対応していただき、感謝に堪えない。また、NPO極アカデミーへの取組も感謝したいとの意見があった。質疑応答の後に、議決に移り、全会一致で承認された。

第6号議案：ホームページの取組の件（資料番号5）

担当理事の欠席より、議長から資料番号5に基づいてホームページの取組について報告があった。大熊副理事長より、世界に発信できるようになれば、当センター設立の趣旨にも沿うものであり、いずれそうなることが期待される。井上理事長からも同様な意見があった。質疑応答の後、議決に移り、全会一致で承認された。

第7号議案：認定法人化へ向けての取組の件（資料番号6及び7）

守屋議長より、認定法人化に向けての取組について、資料番号6及び7に基づいて報告があった。議長より、PST基準では、「相対値基準」を選択することになるが、総収入に占める寄附金の割合が、「20%以上の基準」をクリアする必要がある。実績判定期間における総収入と寄附金差額で算出すると、現状ではこの基準をクリアできない。しかし、「会費収入を寄附金に組み込める」とする規定が認められれば、同基準をクリアできる可能性がある。今後、この点について、所轄庁に相談するとの発言が議長よりあった。その後、議決に移り、全会一致で承認された。

第8号議案：特定認定再生医療等委員会の設置に向けて取組の件（資料番号8及び9）

守屋議長より、特定認定再生医療等委員会の設置に向けて取組について、資料番号8及び9に基づいて報告があった。山岸理事より、第一種は敷居が高く、時間がかかるので、まずは、第二種を目指し、実績を踏まえて、第一種の設置を目指してはどうかとの

発言があった。井上理事長からは、先ずは難しいが第一種の取組を継続し、時期を見て、山岸理事の提案を考えたいとの発言あった。議決に移り、全会一致で承認された。

第9号議案：2019年度活動に関する件（資料番号10）

守屋議長より、2019年活動について資料番号10に基づいて報告があった。議決に移り、全会一致で承認された。

その他：饗庭理事より、当センターの持続可能性に対して、会員数の減少などによる収入の目減りによる活動の制約等が危惧される。よって広く会員を募っていくには如何にすべきなどの意見が寄せられた。大熊副理事長からは、高齢化を迎えられた会員の皆さんにとって、ホームページによる情報発信だけでは、情報が活かされない恐れがある。如何に、当センターの活動を長年共感していただいている会員の方々に、情報発信等をしていくかが課題である。また、持続性の観点から若い会員の参加が期待されるとの発言があった。

最後に井上理事長から出席された理事の方々への謝意が述べられた。その後、守屋議長は、以上をもって特定非営利活動法人再生医療推進センターの理事会に関するすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（17時20分）。

以上、この議事録が正確であることを証します。

年 月 日

理事長 井上一知

議事録署名人 大熊藍子

同 饗庭一慶

角昭一郎	金澤正憲	河瀬斌	川原美枝	木村正弥
古賀まり	小茂川邦彦	重松一生	篠原茂生	高山成吉
徳永立子	萩原明於	長谷川正治	日裏彰人	藤井康雄
星野順一	宮本正章	守屋好文	山岸久一	湯川二郎

監事 大熊正人 井上公子